

令和4年度 第2回 松戸市子ども・子育て会議 議事録

1. 日 時	令和4年11月11日(金) 18:30~19:45
2. 場 所	Zoomによるオンライン開催
3. 出席者	<p><委員> (50音順) 18名 明田委員、安達委員、阿部委員、石垣委員、石田委員、荻野委員、神谷委員、久川委員、小松委員、坂委員、坂野委員、鈴木委員、千石委員、堤委員、百田委員、文入委員、宮下委員、山田委員</p> <p><松戸市> 子ども部長、子ども政策課長、子どもの未来応援担当室長、子育て支援課長、児童給付担当室長、子どもわかもの課長、幼児教育課長、子ども家庭相談課長、母子保健担当室長、保育課長、指導監、入所入園担当室長、保育運営担当室長、事務局(子ども政策課) ほか</p>
4. 傍聴者	0名
5. 次 第	(1) 第2期松戸市子ども総合計画の中間年見直しについて (2) 松戸市子どもの未来応援基金の創設等について(報告)
6. 資 料	[資料1] 中間見直しの概要 [資料2] 中間見直し(詳細表) [資料3] 中間見直し(素案) [資料4] 松戸市子どもの未来応援基金条例 [資料5] 松戸市子ども食堂新規開設・運営支援補助金募集要領 [資料6] 子どもの未来応援基金案内チラシ

1 開会及び会議の成立について

(事務局)

委員の半数以上が出席(21名中18名出席)。

「松戸市子ども・子育て会議条例」第6条第2項の規定により、会議の成立を報告。

2 子ども部長挨拶

3 傍聴者の受入れ及び議事録の作成・公開について

(事務局)

「松戸市情報公開条例第32条」の規定により公開としたいが、傍聴者希望者なし。別室に設けたタブレット端末を通じて会議の傍聴を可としていた。

また、当会議については議事録を作成の上、公開したい。議事録作成のため、Zoomに

よる録音・録画についても許可願いたい。

(阿部副会長)

特段意義等ないので、公開を了承する。

4 議題

(1) 第2期松戸市子ども総合計画の中間年見直しについて

① 見直しの概要及び教育・保育の見直しについて

資料1・2を用いて、各担当課より説明を行った。

※ 質問等は特になし。

② 地域子ども・子育て支援事業の見直しについて

資料2を用いて、各担当課より説明を行った。

(神谷委員)

昨年度の終わりにしっかりと検討していただきたいと申し上げた、児童館の部分と中高生の居場所の問題についての回答がないまま中間見直しが作成されているが、そのあたりはどうなっているのか。担当課のご意見を聞きたい。

(子どもわかもの課長)

こども館と中高生の居場所については、こども館をひとつと中高生の居場所をひとつ増設するために、来年度の予算で要求をするつもりである。令和6年度までには、計3つ作るように計画をしている。

(神谷委員)

中高生の居場所が何時から何時まで開かれているのか、週何回開かれているのか、利用者がどれくらいなのか、といったことについて詳細なものがなければ、見直しのしようがないのではないかと。職員の研修についても、どのような研修が計画されているのか等が今回の見直しから欠落している。数字の問題ではなく、そういったものを把握し、今回の見直しをしているのか。

(子どもわかもの課長)

数値ではない部分は、今回の見直しには含まれていない。今の状況について説明すると、職員の研修に関しては、東松戸の青少年プラザができたので、そちらで2回目の全体研修を行う予定である。今後も定期的に研修は行っていきたいと思っている。

(神谷委員)

週2回しか開いていないところもあって、しかも昼間の時間しか開いていないのはおかしいと以前申し上げた。そういったものをちゃんと把握した上で、改善あるいはそこを運営する方々に依頼できているかが問題。場所がいくつあるかよりも、中身の問題だと以前申し上げた。そういったことに関しての見直しはできているのかという質問である。

(子どもわかもの課長)

日数が足りていないということについて、開所日数を増やす予定で来年度の予算要求をするつもりである。

(坂野会長)

もし、今すぐ詳細の説明が難しければ、書面でいただければと思う。

(子どもわかもの課長)

では、現在の開所日数と今後どのようにしていくのかについて、資料を皆様にお送りしたいと思う。

(神谷委員)

それで結構。皆様に見える化することが重要と考えている。

(子ども政策課長)

今回の子ども・子育て支援事業計画の見直しについてだが、子ども・子育て支援法では需要と供給の計画を必ず立てるようになっており、見直しの対象となるのが施設型給付の保育園・幼稚園の部分と、地域型保育給付の小規模保育や地域子ども・子育て支援事業の13事業の部分であり、そういった(需給の)計画を立てることにより、子ども・子育て支援交付金や施設型給付などが出るようになっている。

神谷委員の指摘通り、児童館は見直しには入っていないが、計画本体に数値目標を掲げている。需要と供給については、毎年予算をローリングする中で見える化をさせていただき、ご指摘の部分については子ども総合計画の進捗を毎年報告する中で、重点事業を中心に今後も報告していきたい。

(2) 松戸市子どもの未来応援基金の創設等について(報告)

資料4・5・6を用いて、子どもの未来応援担当室長から説明を行った。

(坂委員)

私は八ヶ崎に住んでいるが、地域にこども食堂がない。今後こども食堂を新設する場合には、子どもの未来応援担当室にご相談すればよいのか、確認したい。

(子どもの未来応援担当室長)

松戸市には20数か所子ども食堂があるが、ない学区、地域もある。ご連絡をいただければ、個別にそちらにお邪魔するなりして説明したいと思うので、ご一報いただければと思う。

(百田委員)

私が運営している放課後児童クラブでも、地域の子ども食堂さんと連携をしていて、子どもたちの豊かな時間をご提供いただいている素晴らしい取り組みだと思っている。ただ、いつも悩ましいのが、個人情報の取り扱いについてである。該当する子どもがいて、どうにかつなぎたいと思っているが、特にコロナ禍における食材の提供のときには、保護者にどう案内しようか悩ましいところであった。結局、個別に個人情報に抵触しない範囲で広く情報提供をするという、苦肉の策でここ数年対応してきた。

素晴らしい場ができたときに、そこに関係機関がどう紹介しつないでいくことができるのか。繊細な情報が行き来することになると思うので、この場で話題にし、ご意見、ご経験を集めていただけるとよろしいかと思う。

(子どもの未来応援担当室長)

個人情報の取り扱いについては、色々な食堂さんからも悩みとしてお話を伺っている。特に貧困というデリケートなものになると、その扱いについては皆様が持っている情報あるいは行政が持っている個人情報を、非常に慎重に、法に抵触しない限りで活用し、必要な支援を必要な人に届けるという基本的な考え方にに基づき、課題に対して取り組んでいきたいと考えている。

(神谷委員)

全国のこども食堂の連絡協議会をやっている湯浅誠さんという方が、大きな全国組織を作っており、百田委員から出たような疑問点をどうしていくのかという、お悩み相談的なことを行っている。必要であれば、ご相談いただければと思う。頑張ってください。

(子どもの未来応援担当室長)

随時ご相談していきたい。ご助言、感謝する。

4 閉会

(事務局)

本日の議題について、その他意見や要望等あれば、意見票又は任意の様式に記入の上、11月18日(金)までに、FAX、メール、郵便等にて事務局まで送付願いたい。

なお、次回の会議については来年2月頃の開催を予定している。